



北野 (8月23日)

報告紙

地域を



北斗 (8月29日)

語る

開かれた議会を目指し



鷹栖 (9月1日)

らう会

地域を語ろう会

鷹栖町議会では、平成29年8月23日から9月1日にかけて、町内5地区で「地域を語ろう会」を開催しました。

会には、延べ43名の皆さまに参加していただき、行政や議会に対する貴重なご意見や、まちづくりに対する質問・提言を数多くいただきました。

議会に対するご意見は会場でお答えしましたが、行政に対する質問等は議会に取りまとめ、行政に提出し回答を得ました。

本紙では、議会に関するものと行政に関するものに分類し、皆さまにお知らせします。

【議会のこと】

● 転入してきた人も含め、子育て世代の若い人たちの声を聞く機会を作ってはどうか。

A. さまざまな声を聞くため少人数でも「地域を語ろう会」を開催しています。過去には、ななかまど大学、森のようちえんぴっぴらで行いました。

● 議員定数はどのように決めるのか。

A. 議員定数等調査特別委員会を設置し、12月の定例会で定数・報酬ともに現状維持とする報告を行いました。今後も社会情勢の変化や多様な意見に応じて検討を進めます。

● 議会報の補正予算の説明が不十分。なぜこの時期に、なぜ必要だったのか、分かりやすい説明がほしい。条

例改正や契約についてもより詳しい内容を掲載してほしい。

A. 広報広聴常任委員会で課題と考えています。どのような伝え方が良いか検討していきます。



議会広報

● 「地域を語ろう会」の参加人数が少なすぎる。対策が必要ではないか。

A. 案内チラシを広報たかすに折り込み全戸に周知しましたが、結果は不十分でした。次回からは、直

接声を掛け多くの住民に参加してもらえよう努力します。

● 行政への関心が薄くならないよう、議員という職に魅力を感じさせてほしい。各地域から一人は議員になってもらいたい。議員をやるうという環境づくりを考えてほしい。

A. 定数や報酬について検討しています。なり手不足解消のため、議員の社会福祉制度の充実を求める意見書を国に提出しています。

【行政のこと】

教育関係について

● 鷹栖小学校と北野小学校に学校司書を専属で配置してほしい。

A. 今年度から実施している図書司書の学校巡回が、より利用しやすい方法

になるよう検討していきます。(教育課)

● 鷹栖地区公民館の図書室が新しくなるが、本の数が増えるだけでなく、活動のプラスアルファのPRがあつたらいいと思う。

A. 3万冊の蔵書を目指しています。多くの町民の方が利用しやすい環境となるよう整備が進められています。(会場での答弁)



新鷹栖地区公民館の完成予定イメージ



句碑の森（玄穹庵）

●句碑の森について、現在の入り口の反対側に駐車場を作れば行きやすくなるのではないか。

A. 現地確認しましたが、句碑の森は民有地であり、13号道路からの進入は碑などの配置から駐車場には適していないと考えています。（教育課）

●郷土資料館は有料にしてもいいと思うので、テーマをもって展示を変えてはどうか。館内を全体的に明るく、見やすくしてほしい。気軽にいけるようにしたら子ども達も来ると思う。

A. 収蔵品のデータ整理に合わせて、展示品の整理を行っています。施設の改善については、郷土資料館運営委員とも協議を行っています。（教育課）



郷土資料館

●小学校では担任の先生が体育で水泳を教えているが、十分に指導できているのか。プール授業に支援員を派遣できないか。

A. 学級担任のほか、

教務主任や学習支援員も参加し、複数体制で水泳授業にあたっています。（教育課）



フィットネス倶楽部 コレカラ

福祉について

●北野地区のフィットネス倶楽部「コレカラ」は、町民に好評だが、遠方から参加している人達の足の確保を考えてほしい。

A. 平成29年6月から毎週月曜日の午前中に中央、北斗、北成地区向けとして、はびねすまでは町営

バス（無料）で、はびねすからコレカラまでは福祉バスを活用した利用促進を実施しています。平成30年1月からは、毎週木曜日に鷹栖地区向けも実施しています。（健康福祉課）

●森のようちえんは、保育料の負担が大きい。幼稚園・保育園のように2人目以降の保育料半額助成の要望を町としたが話が進まない。森のようちえんに入るために鷹栖町に移住してきた方もいる。

A. 第2子以降の助成事業を12月議会で提案し、可決されました。平成29年4月にさかのぼり助成を実施します。（健康福祉課）

●「農福連携（農業の現場と福祉の現場が連携すること）」を進めている自治体が最近多いと思うが、町の

取り組みはどうなっているのか。幅の広い農業の振興に努めてほしい。

A. 具体的な方向性は決まっていません。農業の分野、福祉の分野の両方にメリットがあることだと思うので、農福連携を進めてもらうよう行政に働きかけます。（会場での答弁）

自立支援において就労の場の確保は重要であり、関係機関と連携し努めています。農業との連携もモデル的には実施していますが、農業側の求める人材とのマッチングなど課題も多引き続き検討を進めていきます。（健康福祉課）

道路について

●町道（林道）で普段通行が少ないところは、草木が繁茂して、通ることができなくなっている。山菜採りで通ることもあるので最低限の管理はしてほしい。通行止め区間は、柵などで分かりやすいようにすべきだ。

A. 町道については、見回りをして管理をしていますが、気が付いた場所があれば連絡をお願いいたします。また、町有林内の作業道については、造林作業用なので施設し立入りを制限しています。入林される場合は、申請書を産業振興課に提出してください。（産業振興課）

●19線13号など大型の積載車が通るので、道路が悪くなってきた。

A. 大型車が増えていくこともあり、道道雨竜旭

川線については道路拡幅工事を予定しています。すでに地元説明会も開催されました。13号道路については、道路パトロールにより継続的に損傷を確認し、危険な状況になる前に補修を実施します。（建設水道課）



●改良されていない道路を整備してほしい。

A. 家の張り付きが多い路線から計画的に舗装化を進めています。19線道路（16-17号間）も舗装化予定の道路ですが、財政的な問題もあり進捗が遅い状況

です。ご理解をお願いいたします。（建設水道課）



四季の里

四季の里について

●四季の里でトマトジュース作りをした際に、若い男性職員が作業の工程、進め方を親切に教えてくれた。これからも積極的に若い職員を育成してほしい。また、ドライフルーツやベーコンも加工できることをPRしてほしい。

A. 地元の食材を使った新たな特産品の開発を地域おこし協力隊の方に期待

しています。トマトジュース以外にも食品の加工ができて、親切な職員がいるということをぜひ周りの方にも広めていただきたいと思います。（会場での答弁）

●地域おこし協力隊は2年という期限があるが、せっかくの良い人材を手放さないでほしい。

A. 2年間の活動を経て、将来、住民として町に住み活躍することを目指しています。鷹栖町を気に入って住んでもらえるようにサポートしていきたいと思っています。（会場での答弁）



地域おこし協力隊

北斗バス待合所について

●北斗バス待合所を有効活用してほしい。

A. 平成29年春より、バス停の管理が産業振興課になりました。四季の里と連携し、特産品等の販売ができないか検討を進めます。（産業振興課）



北斗バス待合所 花かいどう

農業体験

●農業体験の東大生が祭り
でみこしを担いでいた。こ
れからもそういう交流が出
来る機会がほしい。また、
こういう交流があるという
ことや鷹栖町や北成地区の
良さをもっとアピールして
ほしい。

A. 平成28年度から東
京大学との交流を始め、2
年間で9名の学生が約1週
間の農業体験などを行っ
ています。

平成29年は、ほかの首都
圏の大学からも農業体験に



農業体験

来ています。平成30年度も
体験事業を継続する予定で
います。実施時期が決まり
次第、町内への周知を行
います。

学生に本町や各地区の良
さを伝えられる内容にし
たいと考えております。(産
業振興課)

テストコース跡地について

●横浜ゴムタイヤテスト
コース跡地活用はどのよう
になっているのか。

A. 現在、横浜タイヤ
が活用を希望している企業
と交渉を続けている状況で
す。(産業振興課)

消防団第5分団詰所

●北成地区にある分団詰所
の一部から蟻害が発生。ま
た、経年劣化による、建物
の強度上の問題も考えられ
る。

地域の人口減の傾向と今
後の消防団編成の問題もあ

り、建て替えか修復か不
れにするのか。

A. 消防団との話し合
いで、平成30年度に建物内
部の補強を伴う修復工事を
行う予定でいます。(鷹栖
消防署)



蟻害が発生した詰所

ふるさと納税

●ふるさと納税の寄付金額
が多くなっているが、使い
道について議会側からも提
案してはどうか。納税額が
増えるような取り組みは。

A. 平成28年度は1億
円を超えました。用途につ

いては議会側からも提案で
きるか検討します。やみく
もに寄付金を増やすことよ
り鷹栖町の魅力を発信する
ことで町外の応援してくれ
る人を大事にしたいと思
います。(会場での答弁)

●国から返礼品の限度額に
ついて抑えるように言われ
ているが、町としてポリ
シーを持ってやるべきだ。
1億円以上の寄附があった
が有効に使ってほしい。

A. 国が示すような高
額な返礼品は当初から送付
していません。寄付金の3
割を超えている返礼品もあ
りますが、節度を保ちなが
ら米を中心とした町の特産
品をPRしていきます。寄
附金については、継続して
有効な施策や事業に充てて
いきます。(総務企画課)

Jアラートの対応は

●北朝鮮からミサイルが飛
んできてJアラート(全国
瞬時警報システム)が鳴っ
たが、町ではどんな対応を
したのか。

A. テレビやラジオ、
携帯電話にエリアメールが
配信されるほか、町では、
自動起動装置によって、事
前登録された配信先(個人
携帯電話)への通知、はび
ねすのスピーカーからの音
声を配信しています。また、
職員が被害状況の把握と報
告のため登庁しました。(総
務企画課)



ふるさと納税返礼品

パレットヒルズ

●芝生の広場は、芝刈りもこまめにしているので除草剤を撒くほどではないと思う。

A. 芝広場には、年2回（6、7月）たんぼぼやクローバーが多い時期に散布しています。芝を保つためには除草剤が必要ですが、草刈だけの広場（芝でなく雑草）が良いのか次年度に向けて検討します。（総務企画課）

●パレットヒルズのウバユリが刈り取られてしまっただ。親水公園のプラタナスの木も50年以上経っているものだったが、伐られてしまったて残念だ。なんでも刈るといのはどうなのか。

A. パレットヒルズの草刈り作業等を行うときは、確認しながら注意して行っていきます。また、役

場裏公園のプラタナスは老朽化や害虫の影響があったため伐採しました。今後も

倒木による事故防止のため適切な維持管理に努めます。（総務企画課・建設水道課）

●展望台の鳥瞰図が小さくて見づらい。眺めがいいのでベンチを置いてほしい。

A. 眺めが良い場所なので、次年度以降に休憩できるような物（ベンチや腰掛など）を設置します。（総務企画課）



パレットヒルズ

子育て支援

●鷹栖で結婚・子育てすると良いことがあるというのが、感じられない。

最近では医療費も高校生までというところが増えている。結婚して鷹栖町に住むことを、町をあげて祝福するような雰囲気を作ってほしい。

A. 子育て支援は、医療給付のほか、教育施策や放課後児童クラブなど、子どもが育つ環境の質を高めることに重点を置いて取り組みを進めています。保護



心のかけはし

者も含めて、育ちゆく子どもたちも「住んで良かった」と郷土愛を感じるまちづくりをより一層推進し、PRしていきます。（町民課・健康福祉課）

ごみ処理について

●燃やせるごみの処理はどうなっているのか。

A. 今まで燃やせないごみに入れていたプラスチックなどを燃やせる愛別町の施設で受入れてもらうようになりました。埋立てごみの減量につながっています。ペットごみとおむつは愛別で対応できないため、旭川市で処理をします。（会場での答弁）

●愛別町のごみ処理場はいつまでごみを受け入れてくれるのか。町の管理型の施設が満杯になったらどうするのか。

A. 特に期限は設けて

いませんが、平成41年度まではお願いしたいと申入れしています。その後については、上川中部地域ごみ処理広域化対策協議会を通じて、処理方法・受入先等を協議している状況です。（町民課）



愛別処理場

●ごみを少なくするために家庭ごみをそれぞれが簡易焼却炉で処理できないか。

A. 簡易型焼却炉では、ダイオキシン類の除去は難しい状況です。屋外での家庭ごみの焼却は、法律で禁止されています。（町民課）

●旭川市で燃やしたごみの灰は鷹栖町に戻ってきて処分しているが、その灰に有害物質等は含まれていないのか。

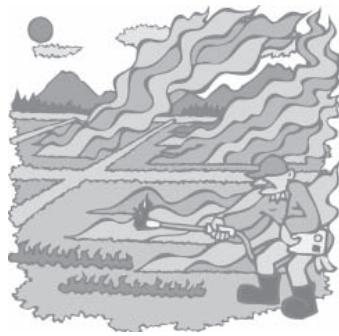
A. 燃やせるごみとしていた物のみを焼却しているため、重金属などの有害物質は入っていません。

また、焼却時に発生しやすいダイオキシン類は、高温で焼却するため発生せず、飛灰も集塵後再焼却しており、有害物質は含まれていません。埋立て処理場の排水検査においても有害物質の検出報告はされていません。(町民課)

●農家が燃やした草の煙で咳が出る人がいる。燃やした後の処理もきちんとしてほしい。

A. 法令上、あぜ草・稲わら等の焼却は特例として認められています。ただし、焼却時は監視するこ

と、交通等の障害にならないようにすること、日没までに終わることなど条件があり、農協とともに啓発していきます。(町民課)



●ごみの分別に新しく小型プラスチック(紫)が増えた。集めた後の処理はどのようにになっているのか。

A. 燃やせるごみはそのまま焼却、小型プラスチック等は粉碎後、焼却しています。町では資源化を推進しており、プラマークがついているものはきれいにし、できるだけ容器包装プラ(灰)に入れてください。(会場での答弁)



粉碎処理

●分別が変わりごみが出しやすくなったが、変わったことを知らない人もいるのもっと周知の必要があるのでは。

A. 分別方法の変更に ついては、「広報たかす」へ掲載、手引きの全戸配布、町民カレンダーへの掲載、ごみステーションへの掲示、町内会の回覧板による周知、ホームページへ掲載、各地区住民センター等での説明会を実施しています。また、個別に警告シールでもお知らせしています。今

後も啓発活動に努めます。(町民課)

●配布されているごみの分別を説明した紙は文字が小さく読みづらい。

A. 紙面の都合上、小さな文字もあり、大変申し訳ないと思っています。今回、ごみの分別表(50音別)を作成しましたので、参考にしてください。

なお、ごみは態様が様々で説明しにくい物もあります。分からないときは町民課にお問合せください。(町民課)



ごみ分別ガイド

●小型プラは月3回も収集しにくいので、たまりやすい燃えるごみを週2回にしてほしい。

A. 小型プラの収集日は、周知の意味と取り置き需要を見込んで3回としていましたが、平成30年1月からは月2回に変更予定です。燃えるごみを週2回にすることは、受入先で対応できないため、回数を増やすことはできません。(町民課)

●高齢者や障がい者はごみ出しが大変。生ごみだけでも戸別収集できないか。

A. 家族による自助や地域の共助又は介護サービスでの対応をお願いいたします。もし、それも難しい場合は、サンホールはびねす内の生活福祉相談センターに相談願います。(町民課)



コンポスト

●コンポストへの助成もしているが、ごみ排出困難者には無償で貸し出すことも検討してほしい。

A. ごみ減容化のために、コンポスト購入助成をしていることをご理解願います。(町民課)

●農村地帯だとごみステーションまで遠い。一人暮らしの高齢者はごみを出しづらいと思う。町内でも住民が増えてステーションの数があふれている。ごみステーションの数を増やしてほしい。

A. ごみステーション

の設置は、町内会で行っています。設置数を増やすことは、収集体制の見直しが必要になる場合がありますので、町内会と役場にご相談願います。(町民課)



ごみステーション

●子供が成長してすぐ使えなくなってしまう自転車、制服などのリサイクルを実現できないか。リサイクルできないければごみになる。

A. 鷹栖町内では、カービングスキー用品、椅子、テーブル、インクジェットカートリッジ、衣類、革製品、寝具、食器などがリ

ユース(再利用)されています。リユース団体または役場にお問合せください。(町民課)



社協で行っているリサイクル

●同じ場所に何度も不法投棄されている。抑止の方法を考えてほしい。

A. 監視カメラの設置や見回り強化など、担当課とも相談して対応します。(会場での答弁)

その他

●たいせつ農協店舗跡地について有効に活用できないか。

A. 鷹栖地区全体の将来的な都市機能の維持、活性化という視点のなかで、空き家等対策や鷹栖町版CRC構想、官民連携の施策等とも連携を図りながら、議論を進めていきたいと考えています。(総務企画課)



解体前のたいせつ農協鷹栖支所

●行政から役員を出してほしいと急に言われて、3月の町内会総会で役員を推薦するが困っている。また、人を集めてつじつまを合わせるような会議を開かれても話の内容が分からない。

A. 地域の役員選出については、昨年の連合町内会長との話し合いの中でも伺っており、急な依頼がないように努めます。また、各種委員会等の開催は、町民の皆さんの意見を反映させるものであり、より分かりやすく意義のある開催となるよう努めます。(総務企画課)

●バスの廃止に伴ってバス停が撤去されたが、道に迷う人もいる。主要な道路に住所を書いた看板があると良いのでは。

A. 平成30年度から主要な道路に住所看板を設置していきます。(総務企画課)



旧バス停

地域を語ろう会 出席者からの声

【出席者アンケートから】

会場名	開催日	出席者数	(H28)	年代	人数
鷹栖地区住民センター	9/1 (金)	6名	5名	20歳代	1名
北野地区住民センター	8/23 (水)	17名	14名	30歳代	1名
中央地区住民センター	8/30 (水)	3名	23名	40歳代	3名
北斗地区住民センター	8/29 (火)	6名	9名	50歳代	4名
北成地区住民センター	8/31 (木)	11名	9名	60歳代	15名
	合計	43名	60名	70歳以上	8名

次回出席するとしたら どのようなことを希望しますか

もっと少人数のグループで話し合い、子育てのこと1つとっても、もっと色々な立場の人を交えて話してみたいです。

例えば、“若い人とのふれあい懇親会”を開いて交流（色々な年代）ができれば良いのではと思うのでいいアイデアを出し合う機会には？

答弁とかではなくて普通に話す感じで議員さんの思っていることが聞きたいです。

若い人の意見と鷹栖町への活性化に力を貸してほしい。

地域を語ろう会に出席して感じたこと、議会に対して意見・提言

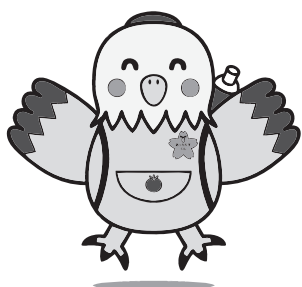
すごく会議っぽくて全然語れない。語ろうと言っていいのか…。少人数でマイクなしのほうが語りやすい。内容確認のためマイクは必要とのことですが本音を言える空気や場作りのほうが大切なのではないでしょうか。とても勉強になりました。

今回、若いお母さんの話が聞けてよかったです。もっと若い方との話が出来る場を何とか考えていただきたい。サロンはあるが、働いている方は日中にサロンへ来るのは難しいかと思えます。

もっと和やかなムードになったらいいなあ。良いところの意見、感想が出たので良かった!! いつもは悪いことの意見が多かったので!!

議会の質問を連携してほしい。個別の問題が深く掘り下げられていない気がします。

楽しい町づくりのために住民も何ができるのか、夢や希望を語り合うラフな座談会などが良いなと思いました。





御礼のことば

鷹栖町議会の活性化の一環として、町民と語り合う機会とするべく「地域を語ろう会」を開催したところ、町民の皆様にはご多用中にもかかわらず、多数のご参加を賜り心よりお礼申し上げます。

さらには、皆様より貴重なご意見・ご提言・地域の現状と課題をお聞かせいただき誠にありがとうございました。これからは、いただいた課題について調査研究を進めます。また、次の開催に向けて開催方法や内容についても改善し、検討を進めていく所存です。

なお、当日各会場で実施したアンケートにおいても、議会および行政に対して貴重なご意見・ご提言をいただき、皆様のご協力に深く感謝いたします。

今後も議会の機能向上・情報公開をはじめ、より開かれた信頼される議会を目指して、議会改革と活性化に取り組んでまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、お礼のご挨拶といたします。

鷹栖町議会議長 木下 忠行

発行日：平成30年2月5日